

2019.9
秋
第43号

からたち



「九重連山 大船山」(大分県竹田市) 撮影者/主任理学療法士 溝部 勝幸

地域から親しまれ、信頼される病院を目指します

患者さんに良質で
安心な医療を
提供します

医学・医療技術の
研鑽に努め、
最新の医療を提供します

地域福祉の向上と、
疾病予防策を
実践します

風通しの良い、
明るく働きがいのある
健全な職場を目指します

p.2 理事長就任あいさつ

p.3 |特集|「シリーズ 医学ア・ラ・カルト」 脳の病気について

p.4 血管造影装置を更新しました！、部署紹介(リハビリテーション科)

p.5 「夏バテ」の次は「秋バテ」にご注意を！！

p.6 柳川病院 第12回市民公開講座 開催報告

p.7 第17回 救急症例検討会、施設時間変更のお知らせ

一般財団法人 医療・介護・教育研究財団
 **柳川病院**

理事長就任あいさつ



一般財団法人 医療・介護・教育研究財団

理事長 馬場崎 紀文

日頃より当財団の運営へ、患者様・ご家族、医師会・消防関係の皆様など地域の多くの皆様方から暖かいご支援とご協力を頂き、心より御礼申し上げます。

令和元年6月に開催されました当財団の理事会において新理事長として推挙され、就任致しました。当財団は、福岡県内の医療の確保と質の向上に寄与すべく平成16年に設立され、病院運営をはじめ臨床医学の研究への助成などの事業を行っております。設立より15年が経過した今日、柳川病院の運営に関わる財団の舵取り役であります理事長という重責を担うこととなり、改めてその職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

柳川病院は、県内の最も高齢化が進む医療圏のなかで中核の総合病院として地域医療を担っており、当院の役割は大きいと感じております。

平成19年に福岡県より当病院の移譲を受けて以降、皆様のご支援と諸先輩方のご努力により新病院の建替えや医師の確保をはじめとして体制の充実を図っておりますが、当院を取り巻く環境は決して平坦ではございません。急速に進む少子高齢化の地域情勢に加えて、国の社会福祉関連政策の下、医療環境、特に急性期病院の経営においては厳しさを増しております。

今後ますます厳しい状況が想定されるなか、当院でも医学の進歩に対する設備投資や人材確保など課題を多く抱えておりますが、於院長をはじめとする柳川病院の職員が「地域から親しまれ信頼される病院」の病院理念に基づき、いつも患者様や地域の方々の身近な存在であるよう、職員一丸となって取り組んで参ります。

今後ともますますご指導頂きますとともに、当財団の趣意にご賛同頂きご支援頂きますよう、心よりお願い申し上げます。

脳の病気について

柳川病院 脳神経外科 劉 軒 先生

2019年4月から、当院の脳神経外科の診療が拡大した。当院で入院治療を行っている、「脳梗塞」および「慢性硬膜下血腫」というご病気に関して、ご紹介いたします。

【脳梗塞】

脳の血管が何らかの原因で狭くなる、詰まるとその先にある脳細胞に血流が充分に行き渡らなくなり、脳細胞が死んでしまいます。これが「脳梗塞」です。その結果、「言葉がうまく出ない」「左右どちらかの手足が動かない」などの言語障害、麻痺症状などが出てまいります。一般的に発症から3～6時間過ぎてしまうと脳細胞が死に至ると言われています。当院では、原則的に発症から**4.5時間以内**であれば、つまった血管を開通させるお薬（アルテプラゼ）を導入しております。脳梗塞は時間との勝負です。以下のような症状があった際には、すぐに救急車を呼んでください。

突然に…



- ・手足がもつれる、しびれる
- ・言葉が出てこない、口がもつれる
- ・ものが二重に見える
- ・めまいがしてふらつく

など。

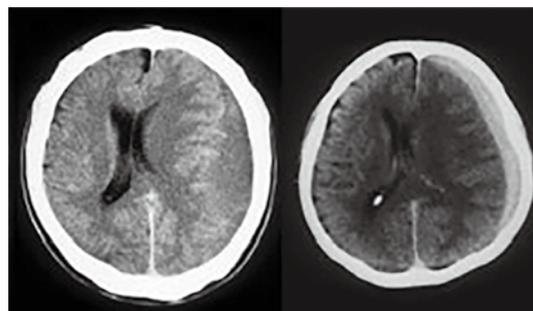
【慢性硬膜下血腫】

転んだりして、頭を打った後に（通常1～2ヶ月後）に頭の中で脳みそを覆っている「硬膜」という膜の下にゆっくりと血がたまることがあります。これを「慢性硬膜下血腫」と言います。

※よく耳にする「くも膜下出血」の「くも膜」はこの「硬膜」のさらに奥にある膜ですので、区別してください。

慢性硬膜下血腫は通常、高齢の方に多く見られます。症状としては、頭を打った3週間以降に、頭痛、フラフラ、認知症のような症状、手足に力が入らないなどがあります。いわゆる手術で治療できる認知症の原因の一つとして、この「慢性硬膜下血腫」が挙げられます。

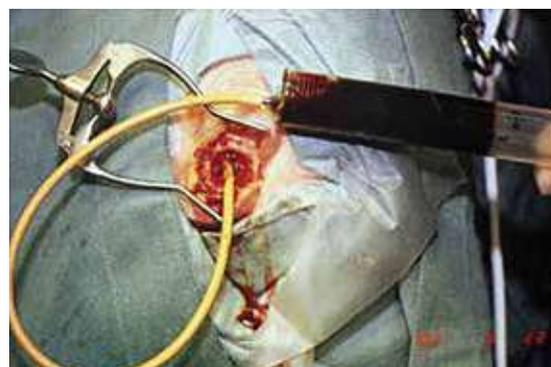
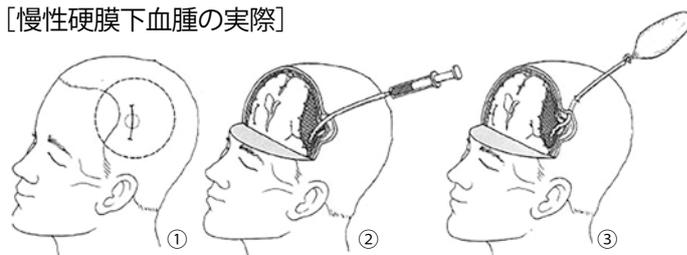
- 診断：数分あれば、頭部CTで診断できます。



- 外科的治療：局所麻酔（いわゆる注射麻酔）で、穿頭手術を行います。具体的には、頭に3～4cm程度の小さな創を作ってから、小さな穴（500円玉大くらい）を開けて、頭の中にたまった血を抜く手術です。
- 術後の注意点：手術に伴う感染や出血などには注意が必要です。また、手術した方の中で、約1割程度の方に再発すると言われておりますので、その際には再手術が必要です。

「脳梗塞」、「慢性硬膜下血腫」はいずれも高齢者に多い病気です。これらの病気に限らず、頭痛や片麻痺、物忘れなど、脳にかかわる病気すべてを、脳神経外科専門医が診療に当たっておりますので、お気軽にご相談ください。

[慢性硬膜下血腫の実際]



慢性硬膜下血腫穿頭血腫洗浄術

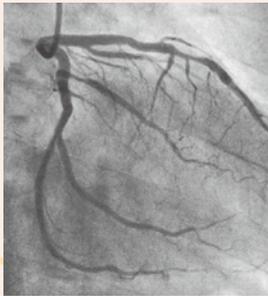
- ①血腫の中央部に皮膚切開・穿頭
- ②硬膜・血腫外膜切開後、カテーテルチューブを血腫腔挿入、洗浄
- ③チューブ留置（閉鎖ドレーン）

引用文献：Neuroinfo Japan 脳神経外科疾患情報ページ

血管造影装置を更新しました！

2019年8月に血管造影装置をPHILIPS社のAzurion 7 B12/12へ更新しました。

1回の造影剤注入で2方向のX線撮影が同時にできるパイプライン型の装置になっています。旧装置に比べると、造影剤や被ばく線量が大幅に削減でき、患者さんの負担を軽減し、より安全な治療や検査を行えるようになっております。



冠動脈造影

検査対象となる主な疾患

狭心症、急性心筋梗塞など

検査法

心臓カテーテル検査（冠動脈造影、左室造影など）

治療法

冠動脈形成術、ペースメーカー埋め込み術など

||||||| 部署紹介（リハビリテーション科） |||||

当院では主に急性期リハビリテーションを行っています。対象となる主な疾患は整形外科、循環器科、脳神経外科、外科、内科などの疾患です。現在、理学療法士9名・作業療法士2名・言語聴覚士1名が在籍しており病气やけがに対して早期からリハビリテーションを開始しています。一日も早く患者さんが笑顔で退院されることを目指して一人ひとりの状況にあわせた個別のプログラムで対応しています。また、今年4月より脳神経外科の先生が着任され脳血管障害や硬膜下血腫などに対するリハビリも多くなり、より一層スタッフみんなで患者さんの機能回復や日常生活動作の向上を目指し日々取り組んでいます。

理学療法士とは

寝返る、起き上がる、立ち上がる、歩くなど生活の基本となる動作の回復・維持・悪化の予防を目的に運動療法や日常生活動作練習を行います。また、痛みの緩和や麻痺の回復などの治療を目的に温熱や電気などを利用した物理療法も行います。機能回復を図るだけでなく「健康を維持する」「悪化を予防する」などを目的とした活動も行っています。

作業療法士とは

日常生活をスムーズにするための応用的動作のリハビリテーションを行います。ここでいう応用動作とは「食事をする」「顔を洗う」「字を書く」等の生活する上で必要な動作の事を指します。手の動作や指の細かい動作などのリハビリテーションを行うことが多いです。



立ち上がり

言語聴覚士とは

病气や障害により、「話す」「聞く」「食べる」ことが困難になってしまった方に対してリハビリテーションや支援を行います。「話す」事には言語訓練、「聞く」事には聴覚検査、「食べる」事には嚥下機能訓練や摂食訓練などの専門的な訓練を実施しています。

今年の9月より言語聴覚士が入職しており当院でのリハビリに取り組んでおります。

多職種とのチーム医療

病院内では様々な職種のスタッフとの連携が必要となります。チーム医療を実践することにより患者さんの安心や満足につながるよう努めています。



歩行



ベッド上での理学療法

「夏バテ」の次は「秋バテ」にご注意を！！

この夏、「夏バテ」になってしまった方はいらっしゃいませんか？これから涼しくなり夏バテが解消してくると食欲が戻り、秋の味覚を楽しみにしている方も多いと思います。しかし、9月に入ってもなんとなくカラダがだるい、食欲がないと感じている方は、もしかしたらその症状、「秋バテ」かもしれません。

秋バテとは？

朝晩の気温差や内臓の冷えのせいで食欲が無くなる、疲れやすくなる、寝不足になるなどの症状を引き起こすと言われています。（発症時期：9月以降）

一方で夏バテとは、暑さのせいで食欲や体力が無くなり胃腸の調子が悪くなる、カラダがだるく活力がわからないなどの症状が見られます。（発症時期：7～8月の真夏の時期）

次の症状が出たら「秋バテ」かも！？

- 疲れが取れず、カラダがだるい
- 食欲がない、胃がもたれる
- 頭痛や肩こりがする
- めまい、立ちくらみがする
- 寝つきが悪く、寝不足である



「秋バテ」になる原因は？

- 汗をかくことによって失われる体内の水分やミネラルの不足
- 冷たい物のとり過ぎなど、胃腸の疲れからくる消化機能の低下
- 屋内と屋外の温度差や朝晩の寒暖差による自律神経の乱れ
- 睡眠不足による体力の低下



「秋バテ」の予防と対策

～食事編～

- ① 1日3食をできるだけ同じ時間帯に、ゆっくりよく噛んで食べるようにしましょう。
- ② 冷たいものは控え、温かいものや常温の食べ物・飲み物をとるようにしましょう。
- ③ 食事は旬の食材を使うようにしましょう。

旬の食材は夏ならカラダを冷やす、冬なら温めるといったヒトのカラダにうまく働きかけてくれるものが多く、栄養価も高いので積極的に食事に取り入れましょう。

【秋の旬の食材とそのはたらき】

食 材	はたらき
根菜類（人参、さつまいも、大根、ごぼうなど） 生姜、かぼちゃ	カラダを温める
きのこ類（しいたけ、しめじなど）、里芋、じゃがいも	食物繊維を多く含み、胃腸の調子を整える
さんま、鮭	疲労回復を助ける



注意！！

スタミナを付けようと、こってりした物や脂っこい物を必要以上に食べると、もともと弱っていた胃腸にさらに負担をかけてしまうので、胃に優しい温かいスープやお鍋、おでんなどカラダを温める食事をとるようにしましょう。

食事の他に、シャワーよりもぬるめのお湯にゆっくりつかったり、ウォーキングやストレッチでカラダを動かしたりフレッシュしたりすることで、「秋バテ」を予防し、解消することができます。

「秋バテ」にならないよう、生活習慣を見直し規則正しい生活を送りましょう。



脳を守る

— 脳神経科学の発展と脳神経外科医の役割 —

6月22日（土）、柳川病院主催の「第12回市民公開講座」を柳川総合福祉センター水の郷にて開催し、柳川市の住民の方など、200名以上の参加がありました。

今回は、佐賀大学医学部脳神経外科講座の阿部竜也教授を講師としてお招きし、『脳を守る—脳神経科学の発展と脳神経外科医の役割—』についてご講演頂きました。講演の中では映像を使用した解説もあり、生活習慣の重要性ではメモをとる方も多く、参加された方々に満足頂けた講演会になったと思います。

アンケートで多数の感想を頂きましたので、ここで一部をご紹介します。



【参加者の感想】 ～アンケートより抜粋～

- ・「知人が血栓の手術を受け、気になっていました。受講できてよかった。」
- ・「実際の映像で解説頂き、とてもわかりやすかった。」
- ・「生活習慣の管理がいかに大事か、意識が高まりました。」
- ・「発展していく医療に興味を持ちました。今後の医療の発展が楽しみです。」
- ・「柳川病院に脳神経外科ができて、安心しました。」



第17回

救急症例検討会

7月12日に当院にて救急隊（柳川・みやま）との救急症例検討会を開催しました。
救急隊より実際の症例を発表して頂き、その症例に対してディスカッションが行われました。

疑問に思っていることや医師からアドバイスを頂くなど、

当院と救急隊との連携を更に強化できたと思います。

当院医師や職員からも質問が出るなどお互いに深い交流の場にもなり

有意義な検討会となりました。

今後も救急隊とのより良い医療連携の為に継続できればと思います。



お知らせ

南玄関施錠時間に変更となりました。
ご協力の方よろしくお願い致します。

平日	18:00～7:00
土曜日	17:30～終日
日曜・祝日	終日施錠

※北玄関につきましては、従来通りの運用となります。



外来診療担当医一覧表

2019年9月1日現在

受付時間

(日・祭日は休診)

午前 8:30 ~ 11:00
 午後 13:00 ~ 16:00 [血液内科(木)]
 13:30 ~ 16:00 [脳神経外科(金)]
 13:30 ~ 15:30 [産婦人科(火・水・木)]

※急患については、この限りではありません。

※都合により診察日・時間に変更になる場合がございます。確認のうえご来院ください。
 ※お問合せの電話については、急ぎの用件を除いては、午後からのお電話にご協力お願い致します。
 ※「担当医」の表記については当該診療科の当番医が診察・診療を行います。

外来担当医表		月	火	水	木	金	土	
内科 消化器内科	午前	新患	於保和彦	吉尾智一	大野美紀	菅偉哉	森山悦子	担当医
		再来	菅偉哉	菅偉哉	於保和彦	吉尾智一	於保和彦	吉尾智一
血液内科	午後				大屋周期			
肝臓外来 (第2土曜日)	午前	(下記※1参照)					宮島一郎	
ピロリ菌外来 (第1・3月曜日)	午後	(下記※1参照)	於保和彦					
内分泌代謝内科 甲状腺外来 糖尿病外来	午前	新患・再来			後藤由佳	永山綾子	廣松雄治	
	午後	再来(予約)			後藤由佳	永山綾子		
循環器内科	午前	新患	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
		再来		松本徳昭	野原夢	吉岡励	吉賀巧	担当医 (急患のみ)
心臓血管外科	午前		土井一義		土井一義			
外科 消化器外科 肛門外科 乳腺外科	午前	新患・再来	貝原淳	岐部史郎	貝原淳	永野剛志	貝原淳	担当医
		再来	永野剛志		執行ひろな		岐部史郎	
整形外科	午前	新患・再来	野崎修	吉里広		野崎修	野崎修 (第1.3.5)	野崎修 (第2.4)
		新患	吉里広	野崎修	吉里広	野崎修	吉里広 (第2.4)	吉里広 (第1.3.5)
産婦人科	午前	新患・再来	嘉村敏治	嘉村敏治		嘉村敏治	嘉村敏治	担当医(第2.4)
	午後	新患・再来		嘉村敏治	寺田貴武	嘉村敏治		
皮膚科	午前		辛島正志	辛島正志	休診	辛島正志	辛島正志	辛島正志
泌尿器科	午前			黒瀬浩文		上村慶一郎	西原聖顕 (第1.3.5) 熊谷壽二 (第2.4)	
脳神経外科	午前	新患・再来	劉軒	劉軒	劉軒	休診	劉軒	劉軒 (第2.3.4.5)
	午後	新患・再来					緒方敦之	
健診センター	午前		喜多奈穂	喜多奈穂	岩本元一	喜多奈穂	喜多奈穂	
検査担当医表		月	火	水	木	金	土	
放射線科	午後			小金丸雅道				
専門エコー外来	午後					黒松亮子		
内視鏡検査		(下記※2参照)	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
			向笠道太		城野智毅	渡辺靖友	垣内誠也	

※1 ご希望の場合は、詳しい診療内容をお問合せください。

※2 内視鏡検査は原則消化器内科で診察のうえ検査実施となります。

柳川病院(代表) TEL 0944-72-6171

地域医療連携室 TEL 0944-74-8145 / FAX 0944-74-8165

柳川病院 患者会

柳川病院では、病院スタッフ(医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・理学療法士) & 柳川病院に通われている患者さんで「翠の会」という患者会を立ち上げています。

～翠(みどり)の会の募集案内～

【会 員】 60～80代の10名程度の方が在籍中
 【活動内容】 勉強会や料理教室、情報交換会、ウォーキング大会等。患者さんが日頃困っていることや悩み事の相談窓口ともなっています。また、会員の方は、月刊「糖尿病ライフさかえ」を毎月無料で読むことができます。
 【年会費】 3,600円(年度の途中入会の方・月払いとなります)

糖尿病の患者さん、糖尿病に関心のある人、どなたでも入会することができます。

【参加希望の方】

柳川病院 翠の会事務局

TEL 0944-72-6171

皆さまのご入会お待ちしております！(森)まで

からたち第43号 発行/2019年9月 編集/柳川病院広報委員会 発行者/一般財団法人 医療・介護・教育研究財団 柳川病院

〒832-0077 福岡県柳川市筑紫町29番地 TEL0944-72-6171(代表) FAX0944-72-2092 http://www.yanagawa-hsp.jp/